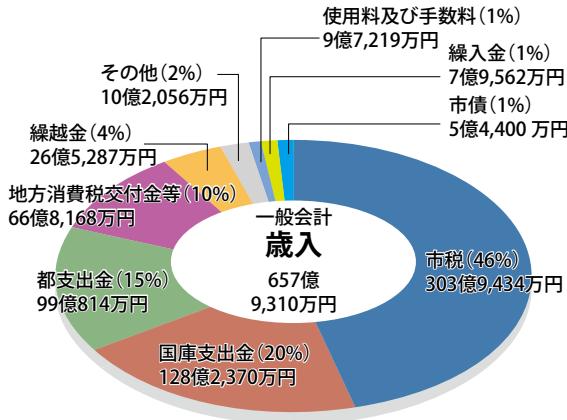


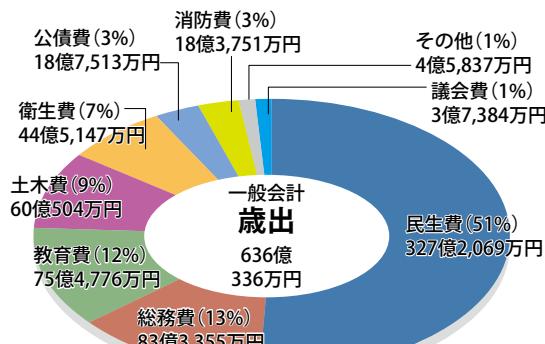
# 令和6年度 決算を認定

令和6年度に多摩市がお金を使った結果(決算)について、議長を除く全議員で構成する予算決算特別委員会において審査し、本会議で認定しました。

## 令和6年度一般会計決算 款別構成グラフ



「教育」「消防」など使う目的ごとの分け方を款別といいます。



※( )内の比率は端数調整しています

## 令和6年度 各会計別決算額

区分	歳入	歳出	差引額
一般会計	657億9,310万円	636億336万円	21億8,974万円
国民健康保険	147億4,300万円	145億6,602万円	1億7,698万円
特別会計 介護保険	128億9,948万円	128億1,022万円	8,926万円
後期高齢者医療	51億6,618万円	51億267万円	6,351万円
合計	986億176万円	960億8,227万円	25億1,949万円

区分	決算額	
	収入	支出
下水道事業会計	33億8,264万円	27億7,178万円
	収入 9,528万円	支出 5億2,060万円

※各会計で千円単位を四捨五入し、端数調整しています。

## 決算審査 こんなことが話題になりました



### ①「都心から近い」「自然が多い」まちの魅力

総務費：シティセールス推進事業

インフルエンサーを活用したSNSでの情報発信についての質疑があり、ジャンルを分けて3名のインフルエンサーが動画をInstagramで発信したというやりとりがありました。その他、子育て世帯の転入を促すPRとして『とかいなかで、子育て』というキャッチコピーで都心などの6駅でポスターを掲示したが反響はどうかとの質疑があり、期間中延べ713万人が目にし、新聞紙面でも取り上げられたとの答弁がありました。

### ③高齢社会に安心のお葬式・納骨をサポート

衛生費 斎場・霊園管理経費

南多摩斎場火葬炉の増設など施設の運営の在り方を検討すべきとの意見に対し、南多摩斎場では、令和5年度から火葬を1日30件に増やし、今年度から1月2月は友引も火葬しているという報告がありました。

また、お墓のご相談をおくやみコーナーで対応、お墓のニーズ調査をし、南多摩都市霊園に合葬墓や樹木葬ができるかという質疑に対し、市民ニーズを把握した上で検討することでした。

### ⑤福祉部門とも連携しながら住宅支援の推進

土木費 住宅ストック対策事業

住まいに課題がある方が、住宅と福祉の両面から支援を受けられることは重要です。質疑により居住支援協議会の委員に社会福祉協議会と今年度から住宅確保要配慮者を支援している法人の加入がわかりました。また空き家調査の質疑では、市内全戸における空き家と空室が4.2%であったこと、今後所有者の世代交代時に空き家や管理不全が発生する可能性があり、空き家対策計画の中で対策を盛り込みたいとの答弁がありました。

### ②聖蹟桜ヶ丘エリアの待機児童対策を早急に

民生費 子どものための保育給付費

聖蹟桜ヶ丘駅周辺の待機児童の質疑がありました。待機児童は多摩市全体的には新カウントで2名ですが、地域的・年齢的なミスマッチがあり、特に1歳児の問題があります。数年間で聖蹟桜ヶ丘駅周辺に認可保育所が2か所と認証保育所が1か所新設され、緊急1歳児受け入れ事業等で対応してきました。さらに定員の見直し、送迎サービス、定期利用保育の延長等検討をすると答弁がありました。

### ④生物多様性の保全を進める取組みについて

衛生費 環境保全啓発事業

120名を超える市民が「iNaturalist(ainaチュラリスト)」というアプリを用いて投稿することで、市内で2,000種以上の生き物を確認することができました。そのデータの活用について質疑があり、新たな参加者を獲得しながら継続し、将来的には蓄積したデータを多摩市生き物データバンクとして整えること。また、市内の水、緑、生物多様性の保全を進める上の基礎データとしての活用も考えていると答弁がありました。

### ⑥学校給食センター建替えと給食の質の評価

教育費 学校給食センター運営費

物価高騰中でも給食は無償化だが品質等は大丈夫か、そして子どもたちに給食の満足度等をどう確認しているか質疑があり、献立の工夫を進め栄養バランスを考慮し、納入業者と情報共有し提供している。栄養士が年2回学校訪問し、意見やリクエストを聞いていたという答弁がありました。また、市長公約の災害時対応給食センター建替えとコンサル料2千万円の内容と進捗と成果については、コンサルの助言を受けて現在地の永山に建替えるとのことでした。